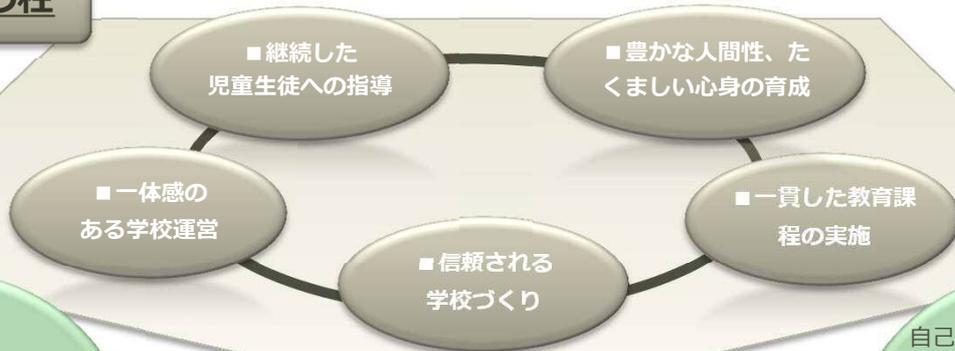


# 高島市小中一貫教育の推進

## ● 一貫教育の柱



## ● 期待する効果

連続した学びに  
支えられた  
学力や体力の向上

系統的な体験に  
支えられた  
豊かな人間性の育成

教員の指導力、  
授業力の向上

学校と保護者・地域  
との連携やつながりの  
強化

小中学校9年間で一貫性のある指導を行うことにより、児童生徒の学びに連続性をもたせ、学習意欲が高まり、学力や体力の向上につながる。

自己を深く見つめ、他の人や社会集団と様々な関わりをもつ活動を小中学校9年間を通して計画的、発展的に行うことにより、児童生徒の精神的な安定が図られ豊かな人間性を育むことにつながる。

小中学校の教員が相互の関わりを深めることによって、自らの指導方法の工夫改善や自己啓発を図り、より質の高い教育を行うことができる。

学校・家庭・地域が協働して、教育課題の解決を図り、地域が一体となって、子どもを育てることができる。

## ● 研究の経過と成果

- ・平成19年度  
～21年度 文部科学省研究開発校の研究指定  
(高島小・高島中)
- ・平成22年度 高島学園開校 (高島小・高島中)
- ・平成22年12月 高島市小中一貫教育基本方針策定
- ・平成22年度  
～25年度 高島市教育委員会の指定研究  
全小中学校
  - 平成23年度 今津・高島中学校区研究発表
  - 平成24年度 湖西・朽木中学校区研究発表
  - 平成25年度 安曇川・マキノ中学校区研究発表
- ・平成25年度 高島市小中一貫教育  
標準カリキュラム作成
- ・平成26年度 高島市小中一貫教育本格実施
  - 高島市小中一貫教育標準カリキュラムの活用
  - 各中学校区における特色ある取組
  - 高島市小中一貫教育推進協議会の実施
  - 高島市小中一貫教育研究発表大会の実施

### ■ 中1ギャップの解消

平成19年度より市内の不登校児童生徒数は減少傾向にあります。(右グラフ) 小中一貫教育における取組が中1ギャップの解消につながっています。

#### 児童から

○「急に中学校の生活に変わると大変だけど、中学校の生活に少しずつ慣れていける。」

#### 保護者から

○「中学校に進学することに対して不安をもっているという感じがしないので、安心しています。」

### ■ 学習意欲の向上

高学年で中学校の先生が授業をすることで、児童は中学校での学習に期待をもち、学習意欲を高めています。

#### 児童から

○「中学校の先生から詳しく教えてもらえるのでよくわかってよいです。」

#### 保護者から

○「高学年の時に中学校の先生が子どもに関わってください、長期的に見てくださるのでよい。」

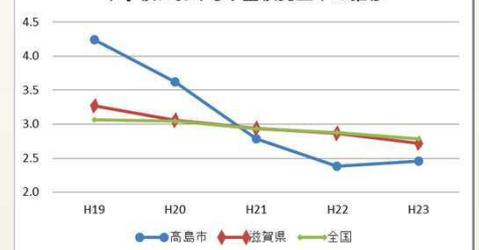
### ■ 豊かな心の育成

異年齢の交流などの取組により、他者を思いやる心や人に優しく接する態度を育成しています。

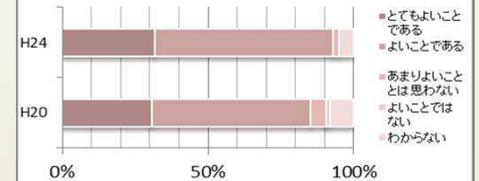
#### 保護者から

- 「他学年と交流することで優しい豊かな心が育成されていると感じ、良かったと思います。」
- 「マラソンで中学生が小学生を励ましながらか一緒に走っている姿に、胸が熱くなりました。」
- 「最年長として偉ぶった態度で年少者に接することなく、丁寧に接することができるようになりました。」

中学校における不登校発生率の推移



保護者アンケート「中学教師による授業」



児童アンケート「児童生徒の交流」

